



小中一貫校まつのやま学園 「雪里留学制度」が11月にスタートします

平成29年度に開校した市内初の9年制小中一貫校「まつのやま学園」は、豊かな自然環境の中で小規模校の利点を十分生かした地域密着型の特色ある教育を展開しており、県内外からも注目されています。

まもなくスタートする「雪里留学制度」は、松之山地域外から児童生徒を広く募集し、ここでしか経験できない学習活動と体験活動から学ぶ意欲を育み、同時に地域の様々な団体や顔の見える大人とのコミュニケーション活動から社会性を育むことを目指しています。

留学には次の二つの方法があります。

□学区外就学（十日町市内から）

まつのやま学園は市内のどの地域からの入学ができますが、通学手段は当事者が行います。

□区域外就学（十日町市外から）

県内をはじめ全国からの入学ができます。県内を離れて通学する子供たちには、24時間体制で支援する寄宿舎を用意しています。また保護者が同居する場合には住宅も斡旋します。

山に暮らし、雪にまなぶ

新潟県十日町市松之山

雪里留学



【出来上がった「雪里留学」のパンフレット表紙】

募集対象者は小学校1年生から中学3年生で、何年生でも可能ですが、寄宿舎（藤倉ハウス）通学の場合は小学校5年生以上となります。詳しいことはパンフに記載されている問い合わせ先にご照会ください。



【改修工事が進む藤倉ハウス】

雪里留學生の寄宿舎「藤倉ハウス」について
藤倉ハウスは旧東川小学校の教員住宅として建てられ、閉校後は布川地区の都市交流活動の拠点として使われてきました。交流活動の経験が豊富な地域にある藤倉ハウスは、留學生の生活拠点として最適であることから、地域との話し合いを経て寄宿舎として運用することが決定しました。
定員は5名で、子供たちが安全で快適な生活が送れるように、現在内部改修工事を進めるとともに、毎日の支援に当たるスタッフ体制づくりを進めています。
そこで皆様へのお願ですが、児童生徒の食事、洗濯、清掃に当たる「生活管理人」と、宿直・施設管理に当たる「夜間管理人」としてお手伝いいただける方の募集を行っています。一人で毎日ではなく、複数の方から分担で勤務する体制で行います。ご協力できる方、話を聞いてから判断したい方など、是非とも松之山支所までご連絡ください。留學生も松之山の子供たちと一緒に、地域をあげて育てましょう。

松之山分校の学びを繋ぐために

自治振興会が県教育長に意見書を提出しました

8月19日に開催された第二回理事会の意向を受け、同月31日に県庁に出向き、佐野教育長へ今回の募集停止に関する意見書を提出しました。現状の厳しさは十分理解できるが、分校を必要とする子供たちのためには存続を選択してもらいたいこと。またこのたび県が示した、「松之山分校の学びを引き継ぐ」という言葉の具体的な方策を早急に示してもらいたいと伝えました。

佐野教育長は、地域の皆様の松之山分校への深い愛着と、子供たちを育てることへの真摯な態度に、改めて敬意を表しました。そして仮に募集停止が決定したとしても、皆様の思いをしっかりと受け継ぎ、子供達が健やかに成長

するよう県として責任をもって対応すると述べました。8月12日の松高支援連絡会との話し合いの場で、統合により一番心配される、コミュニケーションが苦手な子供たちが多数の学校で自立できるのかという点については、自分も両校の授業を参観したが、似たような子供たちが多いことも認識したので、目の届く支援ができる体制づくりも考えていくと述べました。現在松高支援連絡会が行っている通学バスは、その制度を参考に県が引き継ぎ、松之山分校経由（在校生）で松代まで延長運転するとしています。来年度の再編計画は10月下旬の県教育委員会最終決定されます。

新潟県教育長 佐野哲郎 様

貴台の県教育行政へのご尽力に対しまして深く敬意を申し上げます。また十日町高校松之山分校の存続につきまして、日頃より多大なご理解を頂戴していることに厚く御礼申し上げます。

この度の松之山分校の令和5年度募集停止につきまして、松之山自治振興会として次のとおり意見を述べさせていただきます。

ご承知のように松之山分校は地域に高校教育の場を作ろうという諸先輩の情熱で実を結び、以降歴代の同窓会が中心となり、母校を支援し存続が継続してきております。時代が大きく変化してもその精神は引き継がれ、未だその熱意は衰えてはおりません。また松之山地域では合併前より保育園から高校までの一貫した子育て支援活動が続いており、地域をあげて子供たちを育てようという考えが整っている地域でもあ

ります。複雑な社会構造の中を生きている子供たちが、健全な社会人になるための学びの場として、引き続きこの地域の、松之山分校で学べる環境を存続して頂きたいことを改めてお願いするものであります。

一方、近年の急激な少子化は今後しばらく改善する見通しはなく、人口の増加と共に構築されてきた学校教育の体制も、見直しが必要であることは誰が見ても明らかであり、昨年度から幾度も開催した松高支援連絡会との話し合いの中でも語り合

い、地域としても十分理解をしているところであります。意見交換の中から示された「松之山分校を松代高校と統合し、松之山分校の学びを松代高校に引き継ぐ」という表現は、存続がかなわなかった場合の、松之山地域にとつての大きな希望となるものであ



中島副会長 樋口会長

佐野教育長

尾身県議 中島事務局長

この言葉のなせる具体的な教育方針を、来年度以降受験を目指す子供達に、そして期待を込めている松之山地域への早急なお示しをお願いするものです。教育環境が変わることは地域にとつては一大事であり、子供たちに過度な不安を与えることは避けなければなりません。松之山地域としましては自信をもって存続を希望するものでありますが、なにとぞご英断をお願い申し上げます。

令和四年八月三十一日

松之山自治振興会

会長 樋口一次

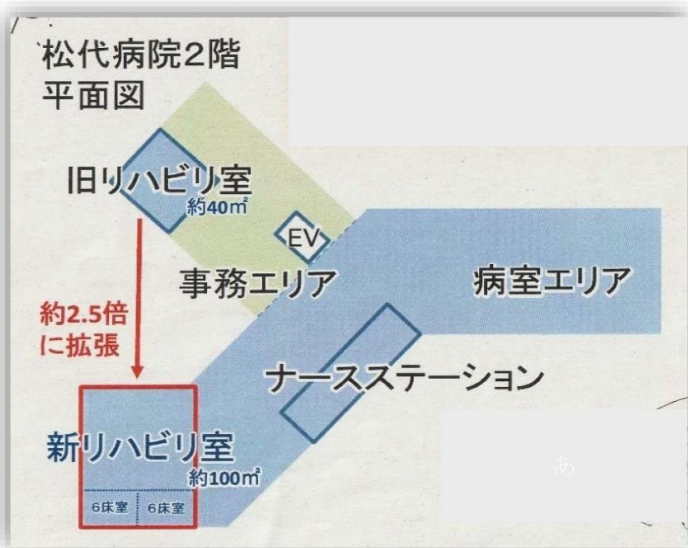
副会長 中島健男

理事・代議員一同

県立松代病院が リハビリ室の拡充を行います

県立松代病院では手術後等のリハビリ・在宅復帰に向けた取り組みとして、来年4月までにリハビリ機能を強化するための拡張工事を行うことになりました。現行の松代病院のベッド数は55床ですが、近年の入院患者数が平均29人余りであることから、そのベッド数以上の40床を確保したうえで一部病室を新たなリハビリ室に転換するものです。この拡張工事に伴い、リハビリ対応を行う職員や地域連携部門の職員も増員し、入院の支援を充実させる計画で進めています。

一昨年、松代病院の県営存続を誓願する署名運動を実施したことが記憶に新しいですが、引き続き県立病院として、外来診療科数及び診察時間、救急車受け入れや急な発熱などの救急対応を、これまでと同様に十日町病院と分担して対応していきます。



新リハビリ室は100㎡となり、現在の40㎡の2.5倍の広さになります。また部屋の中に柱がないため開放感もあり、大人数が同時にリハビリを受けることが出来るようになります。工事期間中は騒音や業者の出入れがあり、入院患者の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解ご協力をお願いします。



緑の募金

地域の皆様からもご協力いただいている緑の募金事業は、個人のほか企業などの団体からのたくさんの支援により成り立っており、公益社団法人国土緑化推進機構を中心に各道府県には独自の組織（新潟県では「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」）があり、

全国各地で様々な緑化関連事業が展開されています。松之山自治振興会では、今年度新規採択を受けたキョロロの森での事業を含め、4つのメニューに取り組んでいます。皆様からのご支援が、意外と身近なところでも役立っています。



①左上：緑化推進機構の「子どもたちの未来の森づくり事業」の採択を受け、この夏から活動を開始した「キョロロの森を育てよう事業」の体験会の集合写真です。この事業はコンビニのファミリーマートの募金が原資になっています。

②左下：県緑化推進委員会の事業として実施している「育林事業」で、昨年と今年で美人林エリアの支障木の伐採と枝打ちを行います。今年は入り口杉林の枝打ち作業を計画しています。

③またこの事業では今年からの新規として、松之山温泉にある「湯の森公園」の維持管理が採択されました。温泉組合が中心となり活動している事業への支援となります。

④もう一つはこれまで7年間にわたり当間高原ゴルフ場からのご支援で整備を続けてきた「ゴルファー緑化推進事業」による美人林の様々な整備事業です。今年はその最終年として、来訪者に美人林のストーリーを伝えるための看板制作に取り組んでいます。



松之山まちづくり応援寄付金をいただきました。【R4.7/5~7/25 まで】

日頃より松之山を応援していただきましてありがとうございます。いただきました寄付金は地域活性化対策に使わせていただきます。



おところ	お名前	おところ	お名前	おところ	お名前
足立区	室橋昭男様	十日町市	上越舗道(株)様	—	匿名様①
目黒区	津端健一様	新潟市	阿部みき子様	—	匿名様②
川口市	村山和徳様	蓮田市	和久井伸一様		
羽生市	那須博子様	茅ヶ崎市	岡村令子様	計 10 名	73,000 円

8月17日開催 十日町地域自治組織連絡協議会からのお知らせ

今年度第二回目の連絡協議会が市役所で開催されましたので、地域に関連する内容を報告します。

□上越ケーブルビジョン(株)による十日町地域でのサービス展開について

上越市を拠点に事業展開している同社は、独自の光ケーブル整備により十日町市のサービスエリア拡大を進めています。今年度は西本町に十日町情報センターを開設し、十日町駅周辺へのサービスを開始しました。今後順次エリア拡大を進め、松之山地域では令和8年度開始計画となっています。地デジや衛星放送をはじめとした多チャンネルサービスになります。今後の情報をお待ちください。

□十日町市学区適正化方針の一部見直しについて

令和2年11月に公表された第2次学区適正化方針については、これまで各校区住民から様々な意見が寄せられました。教育委員会はその内容を分析した結果、小学校については基本的な合意が得られたことを受け、今後は個々の学区再編事案について、関係地域が主体的に対応を検討し意思決定するための話し合いを進めていくこととなりました。

一方中学校再編では総論では賛同が得られたものの、方針案のままでは合意は得られないことが明確になったことを受け一旦白紙に戻し、中学校教育の在り方の中・長期的な視点で検討し直すこととなりました。今後「中学校教育のあり方検討会(仮称)」を設置して検討を進めることとなりました。

□公民館のコミュニティセンター化について

松之山公民館は自然休養村管理センターという建物に間借りしている形になっていますが、市内には松之山と同様の公民館と、初めから公民館施設として建てられたものがあり、利用する際の規定も一致していない現状があります。市では市内で同じ条件で利用でき、さらに利用制限を緩めて一層使いやすい施設に変えていくことと、自治組織の事務局を同居させることで、地域活動の拠点をすることを目指し、現在の公民館を「コミュニティセンター」という名称の施設に変更する計画を進めています。名称が変わっても、これまでの教室やサークル活動には影響はありません。

市では各地域との話し合いを進め、令和7年度をめどに準備が整った地域から移行を進めていくとしています。



◇編集後記◇

今頃になって梅雨入り梅雨明けの見直しを発表しましたが、プロとして後出しジャンケンはいけませんよ！ そんなんで、田んぼが乾かないのもイノシシやカモシカが騒ぐのも、みんな〇〇斤のせいにしたくなるこの頃です。性格が悪くなります(笑)

K, Nakajima



松之山自治振興会 事務局



<https://www.facebook.com/hai.koncho>

☎942-1406 新潟県十日町市松之山 1597-2 (松之山支所 地域振興課内)

☎025-596-3131 fax:025-596-3515 E-mail: m_jichishinkoukai@yahoo.co.jp

【松之山の人口8月末】 総人口 1,701人 (男814人 女887人) 世帯数: 788世帯

(総人口 前月比: +2人)